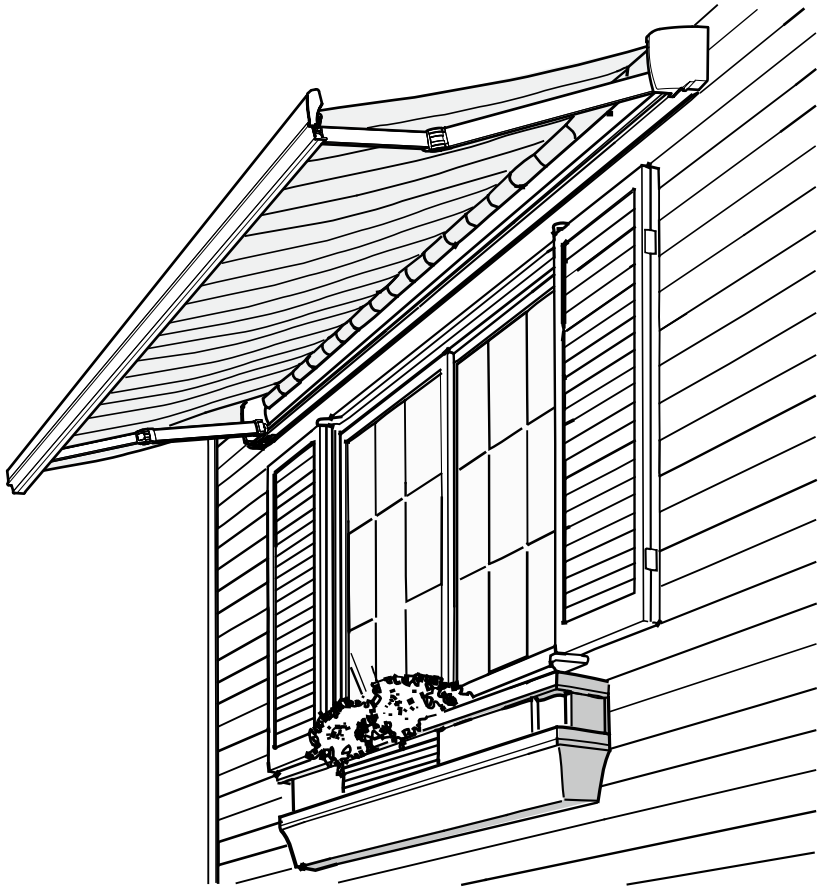
LIXIL

お施主さま用

# 可動式日除け

## 取扱い説明書



**ご使用にあたって**

この説明書では、お施主さまが商品を安全に正しくご使用いただくための取扱い方法やお手入れ方法などの重要な内容を記載しております。
ご留意いただくとともに、大切に保管してください。

# 目　次


■重要なお知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
■警告用語の種類と意味・・・・・・・・・・・・・・・ 2
■安全のため特に注意していただきたいこと・・・ 2〜6
危険 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
警告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2〜4
お願い ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5･6
■操作方法
（彩風C型･CR型･S型･L型）・・・・・・・・・・7･8
●手動式／電動･手動併用式 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
●電動スイッチ式／電動リモコン式／電動･手動併用式・・・ 8
■操作方法
センサー（オプション）付きの場合・・・ 9･10
●電動スイッチ式／電動･手動併用式
振動センサー、風力陽光センサーの操作について・・・ 9
●リモコン式
振動センサー、風力陽光センサーの操作について・・・ 9
●センサー作動時の優先順位・・・・・・・・・・・・・・・・10
■操作方法（彩風 多目的バー）・・・・・・・ 11
●タープ生地（オプション）の固定・・・・・・・11
■操作方法（彩風CR型）・・・・・・・・・・・・ 12
●スクリーンの固定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
■製品が動かない場合・・・・・・・・・・・・・・ 13
■お手入れ方法・・・・・・・・・・・・・・・ 14〜16
●商品の点検 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
●商品のお手入れ・・・・・・・・・・・ 14〜16
■アフターメンテナンスについて・・・・・ 17
■商品保証について・・・・・・・・・・・・・・・・ 18


# 重要なお知らせ

ご使用の前に

●安全のために、必ずお守りください。
「可動式日除け」のご使用およびお手入れを行う場合は、必ずこの取扱い説明書にしたがってください。
なお、この取扱い説明書にしたがわず、乱用又は誤用によって、ケガおよび損害が発生した場合は、当社およびその販売会社に責任はないものといたします。

1. この取扱い説明書の記載事項の他にも、あらゆる危険が想定されます。
したがって、「可動式日除け」のご使用およびお手入れの際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
2. この取扱い説明書は版権を有し、その権利は留保されています。
3. 商品のお問い合わせについては、下記の窓口までご連絡ください。

| 問合わせ事項 | 連絡先 | TEL |
|---|---|---|
| 商品全般 | お客さま相談センター | 0120-126-001 |
| 修理のご依頼 | LIXIL修理受付センター | 0120-413-433 |

# 警告用語の種類と意味

※この章では、「可動式日除け」を使用する場合に守るべき安全事項を説明しています。

●この取扱い説明書では、危険度の高さ(又は事故の大きさ)にしたがって、次の2段階に分類しています。
以下の警告用語が持つ意味をよく理解し、本書の内容(指示)にしたがってください。

| 警告用語 | 意　味 |
|---|---|
| ⚠危 険 | 取扱いを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。 |
| ⚠警 告 | 取扱いを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。 |
| ⚠注 意 | 取扱いを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。 |
| お 願 い | 特に注意を促す情報で、使用者などが思わぬケガをするおそれや、機器の損傷・故障などにつながる場合があります。 |

# 安全のため特に注意していただきたいこと

(安全のため、必ずお守りください)

## ⚠ 危　険

**リモコン、振動センサーの電池について**

●電池の液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で充分に洗った後、医師の治療を受けてください。失明など障害のおそれがります。

## ⚠ 警　告

**リモコン、振動センサーの電池について**

●電池は乳幼児の手の届く所に置かないでください。電池を飲み込んだ場合は直ちに取出す必要がありますので、すぐに医師に連絡し、指示を受けてください。電池を飲み込むと、化学やけど、粘膜組織の貫通など、最悪の場合は死に至ることがあります。

●使い方を誤ると、電池が発熱、液漏れ、破裂し、ケガや火災の原因になりますので、下記事項をお守りください。

・火の中に入れたり、加熱、分解しないでください。
・電池の(+)と(−)を逆にして使用しないでください。
・新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。

## ⚠ 注　意

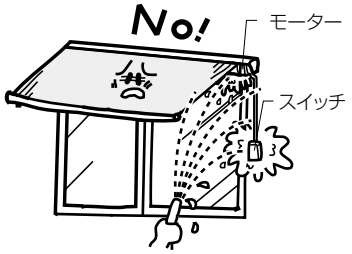
**リモコン、振動センサーの電池について**

●使い方を誤ると、電池が発熱、液漏れ、破裂し、ケガや周囲を汚損する原因になりますので、下記事項をお守りください。

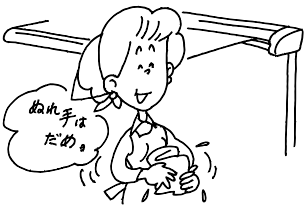
・落下させたり、強い衝撃を与えたり、変形させたりしないでください。
・水などで濡らさないでください。
・直射日光・高温・高湿の場所を避けて使用、保管してください。

# ⚠注　意

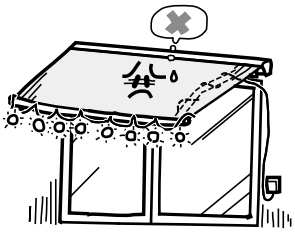
●電動の場合、モーターやリモコン･スイッチなど電気関連部分に水をかけないでください。製品の破損、感電･漏電のおそれがあります。



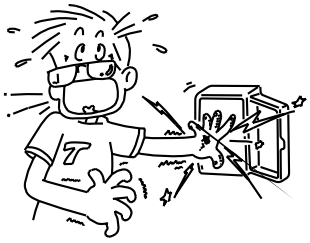

●濡れた手でスイッチを操作しないでください。手を良く拭いて使用してください。



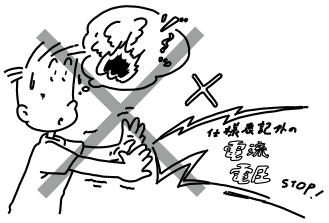

●製品に電気コードを巻付けないでください。感電･漏電のおそれがあります。



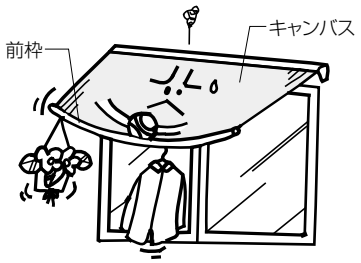
●コントローラーなどの電動装置内の配線にはふれないでください。感電する危険があります。



●仕様に表記された電流･電圧以外の電源は使用しないでください。火災、感電の危険があります。



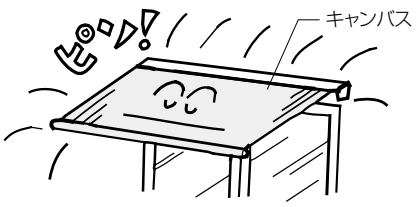

●前枠やキャンバスに、ものをぶら下げたり荷重をかけたりしないでください。落下･破損のおそれがあります。

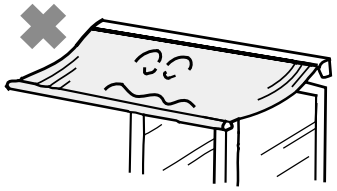



●キャンバスはたるみなく張ってください。

※キャンバスのたるみが直らず水がたまってしまう場合は、必ず購入先に連絡し、直してもらってください。多量の水がたまると製品が落下するおそれがあります。

※製品に水分がたまったままの状態で操作すると、一度に多量の水が流出します。通行人や品物など周辺にかからないようゆっくり操作してください。





# ⚠注　意

●雨天時の使用について

◎『彩風』(オーニング角度20°以上の場合)

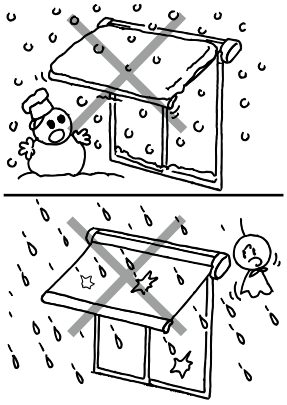
強めの雨でも使用できますが、大雨注意報が発令されるような大雨や積雪またはそれが予想される場合はキャンバスを巻取っておいてください。落下･破損のおそれがあります。

◎『彩風』(オーニング角度20°未満の場合)

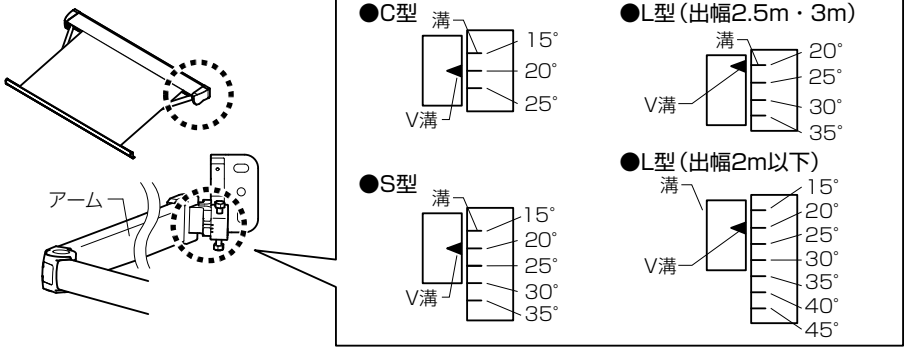
強めの雨や積雪またはそれが予想される場合は、キャンバスを巻取っておいてください。落下･破損のおそれがあります。

※小雨程度ならそのままの状態でオーニング下のスペースを活用できますが、キャンバスに雨水がたまるような状況であればすぐに使用をやめてください。

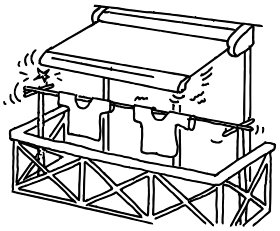
※オーニングの角度調整については、専門取扱店へご相談ください。



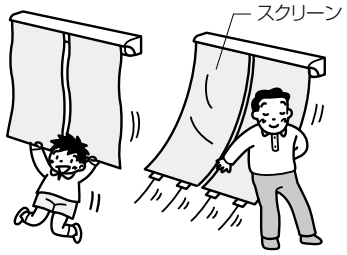
《オーニング角度の見方》



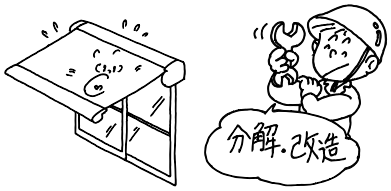

●キャンバスを駆動させる前に、障害物が無いか確認してから操作をしてください。



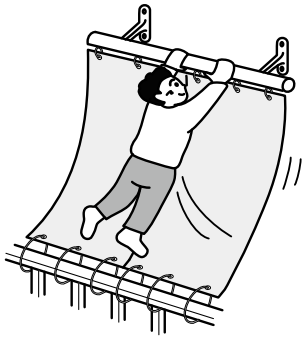
●スクリーンにぶら下がったり、荷重をかけたりしないでください。落下･破損のおそれがあります。



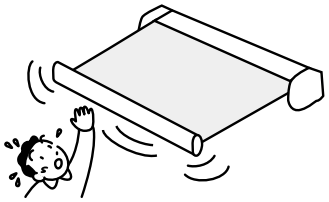

●分解･改造はしないでください。
事故･故障の原因になります。




●多目的バーを使う場合、バーにぶら下がったりしないでください。フック1個あたりへの懸架物の重量は12.5kg以下とし、総重量は50kg以下としてください。製品が破損･落下してケガをするおそれがあります。



●振動センサー(オプション)の電池交換時には前枠がゆれないようにしてください。振動を検知して前枠が動き、ケガをするおそれがあります。



## お願い

●強風のとき、又は突風が予想されるときはキャンバス･スクリーンを巻取ってください。あおられて破損のおそれがあります。

### ■タイプ別による巻取る目安

| | 彩風 C型 | 彩風 S型 | 彩風CR型 | | 彩風 L型 | 多目的 バー |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | キャンバス | スクリーン | | |
| 風速10m/秒 | | | | ○ | | ※2 |
| 風速14m/秒 | | | | | ※1 | |
| 風速20m/秒 | ○ | ○ | ○ | | | |

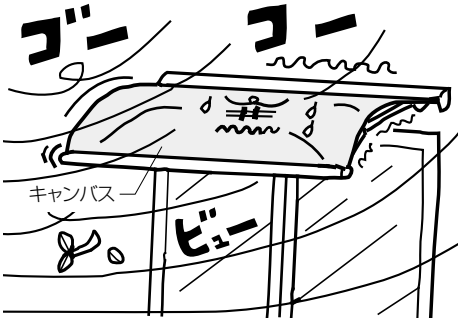
※1 製品サイズにより異なります。
下表を参照してください。

| 間口＼出幅 | 1.25m～2m | 2.5m～3m |
|---|---|---|
| 1.0～2.5間 | **風速20m/秒** | **風速14m/秒** |
| 3.0～6.0間 | **風速14m/秒** | **風速14m/秒** |

※2 多目的用キャンバス（オプション）は、10m/秒以上の強風時にはキャンバスを取外してください。

### ■地上における風速の目安 ※突風の目安ではありません。

| 風速(m/秒) | 現　象 |
|---|---|
| 8 | **葉のある低木がゆれはじめる。池や沼の水面に波頭が立つ。** |
| 10 | **大枝が動く。電線が鳴る。かさがさしにくい。** |
| 13 | **樹木全体がゆれる。風に向っては歩きにくい。** |
| 15 | **小枝が折れる。風に向っては歩けない。(小型台風)** |
| 20 | **小枝が折れる。しっかりと身体を確保していないと転倒する。** |
| 25 | **樹木が倒れる。立っていることが困難になる。** |



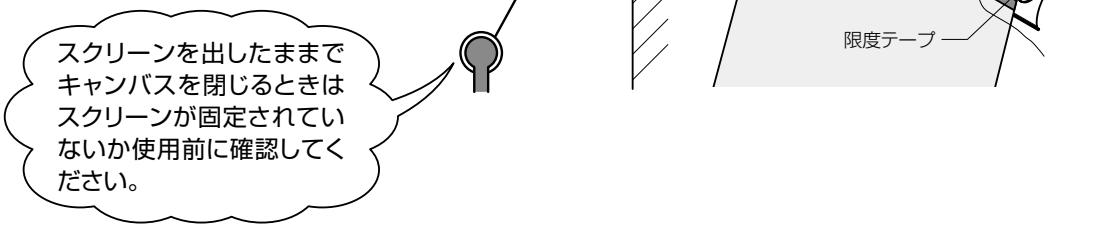

●風力センサー・振動センサーは感知し巻き取るまでに時間がかかるため、突風には対応できません。突風が予想される場合はあらかじめキャンバスを巻き取ってください。

●雨や雪･結露など、製品に付着した水分が凍結している場合は、溶けるまで操作しないでください。故障の原因になります。

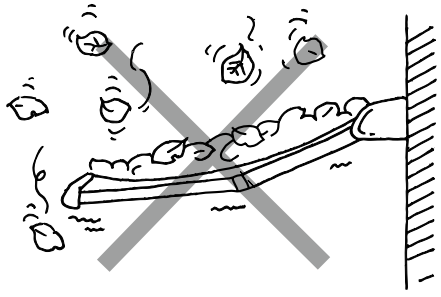
●夜間や留守の場合は、必ずキャンバス･スクリーンを巻取っておいてください。気象の変化などで故障するおそれがあります。

●スクリーンはたるませてください。ご使用は限度テープが見えない範囲内で行ってください。範囲外で行った場合、製品破損につながります。

・彩風CR型の例

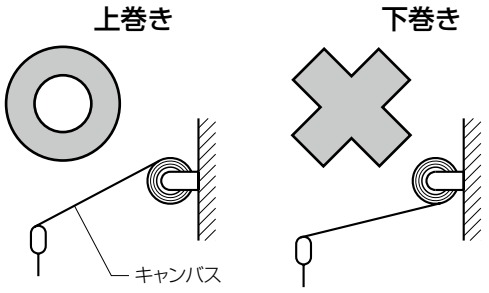



●雪や落ち葉などがキャンバスの上に積もってしまった場合は、必ず取除いてから巻取ってください。故障の原因になります。

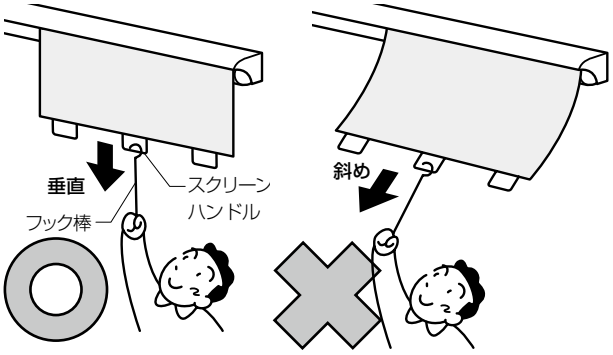


## お願い

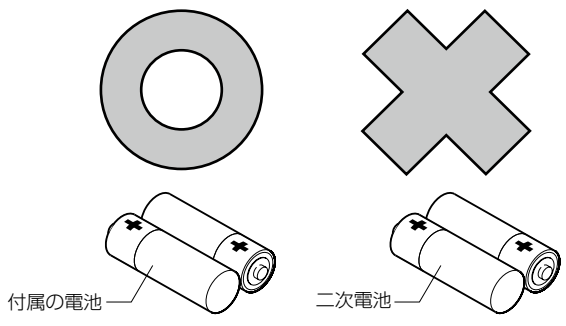
●手動式の場合、キャンバスを下巻きにしないでください。正常に巻取れず破損の原因になります。(操作方法参照)



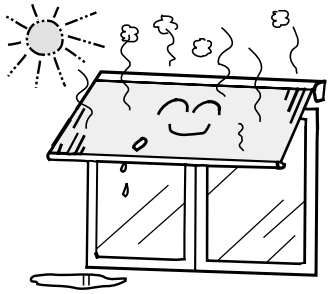

●スクリーンの開閉操作は、中央のスクリーンハンドルにフック棒などを引っ掛け、スクリーンが垂直になるようにゆっくり行ってください。斜めに行うとスクリーンの巻乱れが生じ生地の消耗につながります。巻乱れが生じた場合はいったん引出し、再度巻取ってください。



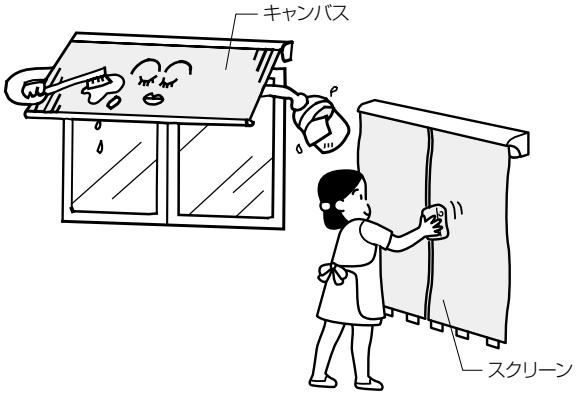

●振動センサー (オプション) の電池は付属の電池をお使いください。電池交換の際は、再充電可能な二次電池は使用しないでください。故障の原因となります。




●雨などでキャンバス・スクリーンが濡れた場合は、傘と同じように天気の良い日に開いて乾かしてください。カビの発生や汚れの原因になります。



●キャンバス・スクリーンはこまめにお手入れしてください。汚れがひどいと生地の老化が早くなります。又、キャンバス・スクリーンは3～5年を目安に交換することをおすすめします。




●スクリーンを折り曲げた状態で強く押しつけないでください。折りじわの原因となります。

●ご使用前に点検して異常があれば操作を中止し、工務店様・販売店様または当社お客さま相談センターにお問い合わせください。

●製品の設置や修理は必ず専門業者に依頼してください。人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

**リモコン、振動センサーの電池について**

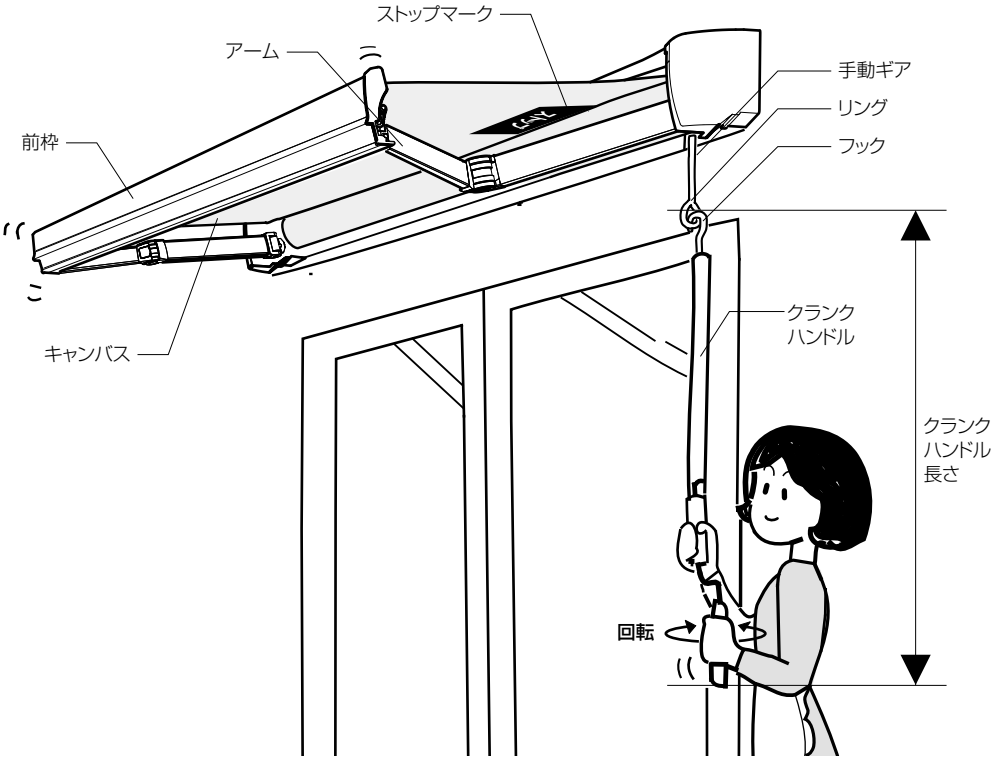
●自治体の条例などの定めがある場合には、その条例に従って廃棄してください。

# 操作方法（彩風C型・CR型・S型・L型）

手動式／電動・手動併用式

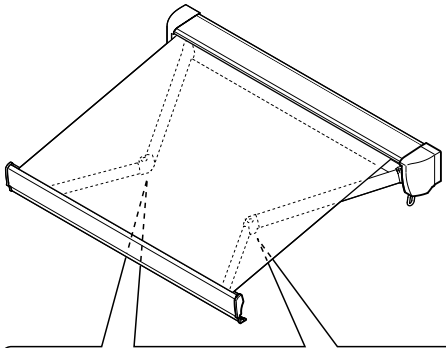
## 手動ギアの操作方法

①クランクハンドルのフックを手動ギアのリングに引っ掛け、手回しで開閉します。
※クランクハンドルの長さは100cm・150cm・170cm・225cmを用意しています。
※キャンバスを全開せず途中で止めたままでも使用できます。
※操作しないときはクランクハンドルを外しておいてください。
※全開するときは、図のようにストップマークが見えたところで止めてください。出し過ぎた場合は、キャンバスがピンと張った状態になるまで巻戻してください。
※キャンバスを全部出しきった状態でさらに出す方に回すとキャンバスが下巻きになります。下巻きになると布が正常に巻けなくなり、破損の原因になりますので常に上巻きになっているのを確かめてください。

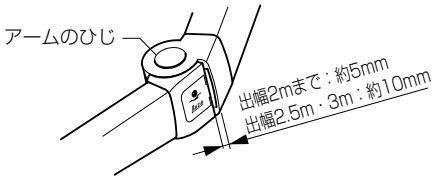



■最大張出し位置

●彩風C型・CR型・S型・L型

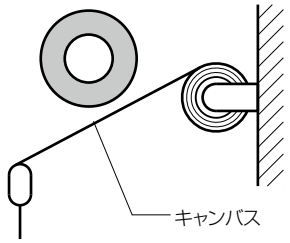


●アームのひじ部分が5mm程度あく位置が最大の張出し位置になります。

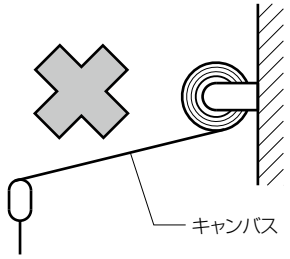



■巻取り方向の確認

上巻き



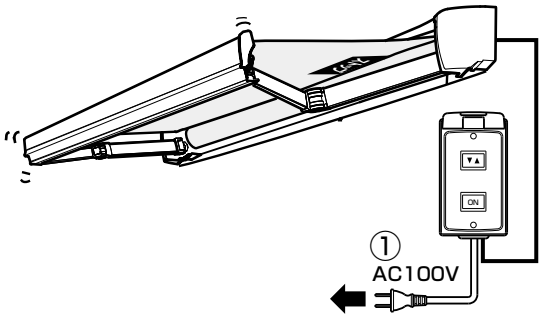

下巻き



## 電動スイッチ式／電動リモコン式／電動・手動併用式

①電源プラグを、AC100Vコンセントに差込みます。（AC100Vコンセント以外には差込まないでください。）
屋内配線と結線されている場合は、ブレーカーをONにします。

**※連続開閉は、なるべくさけてください。連続開閉すると、モーターの安全装置が働き、開閉途中でも止まります。この場合は 20 ～ 30 分ほど休ませると再び動かせます。**




## 電動スイッチ式／電動・手動併用式

### スイッチ操作方法／彩風 C 型・CR 型・S 型・L 型

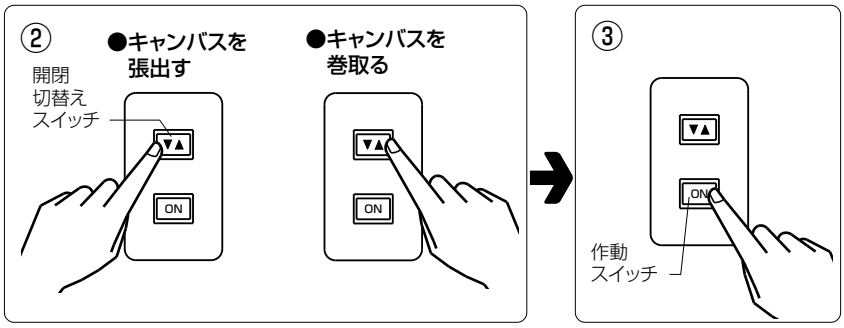
②開閉切替えスイッチの▲又は▼を押します。

**▼…キャンバスを張出す**

**▲…キャンバスを巻取る**

③作動スイッチを押します。

押している間だけモーターが作動し、開閉します。手を離すと止まります。




## 電動リモコン式

### リモコン操作方法／彩風 C 型・CR 型・S 型・L 型

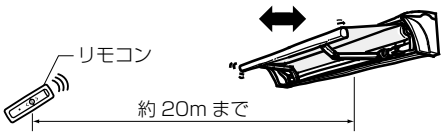
②リモコンのスイッチを押します。

※リモコンの赤ランプが点灯しているとき（最長5秒間）に電波が出ています。
赤ランプが点灯しなくなったら、電池を交換してください。

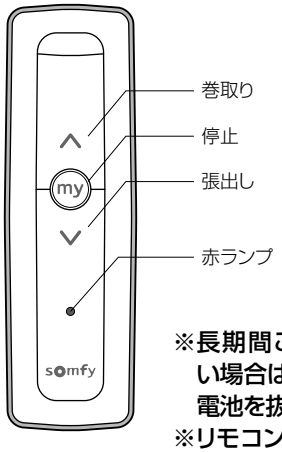
**∧ …キャンバスを巻取る**

**my …途中停止する**

**∨ …キャンバスを張出す**




■リモコン



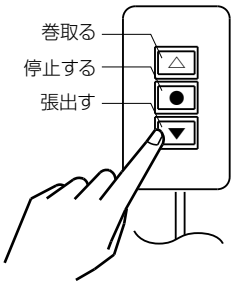

**※長期間ご使用にならない場合は、リモコンから電池を抜いてください。**

**※リモコンは本イラストとデザインが異なる場合がありますが機能、操作、設定方法に変更はありません。**

# 操作方法 センサー（オプション）付きの場合

## ①電動スイッチ式／電動・手動併用式 振動センサー、風力陽光センサーの操作について

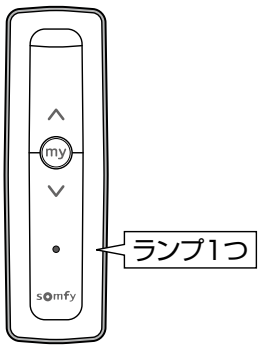
■センサー式スイッチ



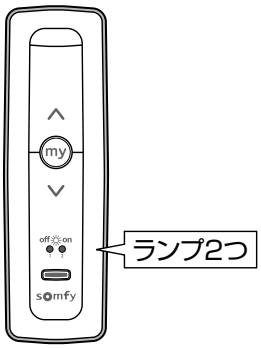

スイッチの△又は▼を押します。
△・・・キャンバスを巻取る
▼・・・キャンバスを張出す
※センサー式のスイッチは、一度押すとあらかじめ設定されている位置までモーターが作動します。途中でとめる場合は●を押してください。

## ②リモコン式 振動センサー、風力陽光センサーの操作について

■通常のリモコン

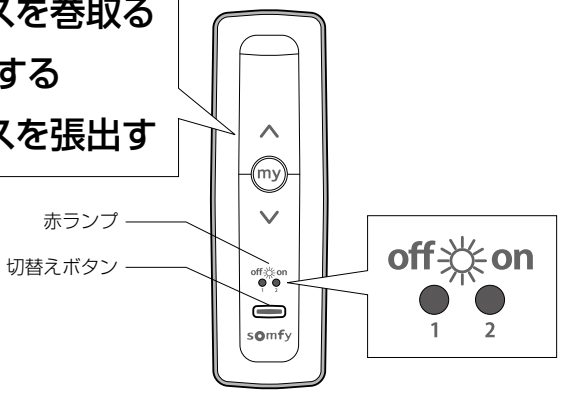



■オプションリモコン（風力陽光センサーのみ）

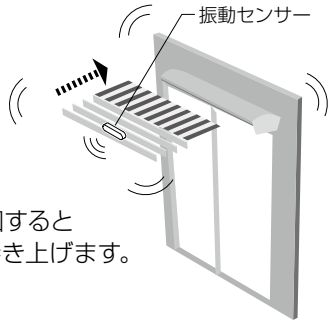



オプションリモコン（風力陽光センサーのみ）のスイッチを押します。
※リモコンの赤ランプが点灯しているとき（最長5秒間）に電波が出ています。赤ランプが点灯しなくなったら電池を交換してください。
※切替ボタンを約2秒間押すことで、陽光センサーのON/OFFを切り替えることができます。お好みに合わせて切替えてください。

∧ …キャンバスを巻取る
my …途中停止する
∨ …キャンバスを張出す

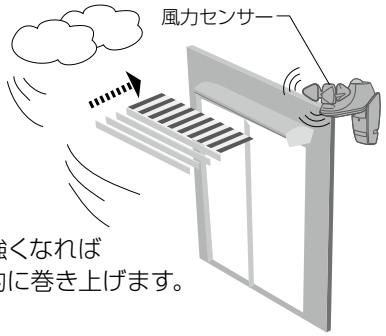



## 振動センサーの働き




振動を感知すると
自動的に巻き上げます。

## 風力センサーの働き




風が強くなれば
自動的に巻き上げます。

## 陽光センサーの働き




太陽が昇れば
自動的に張り出します。



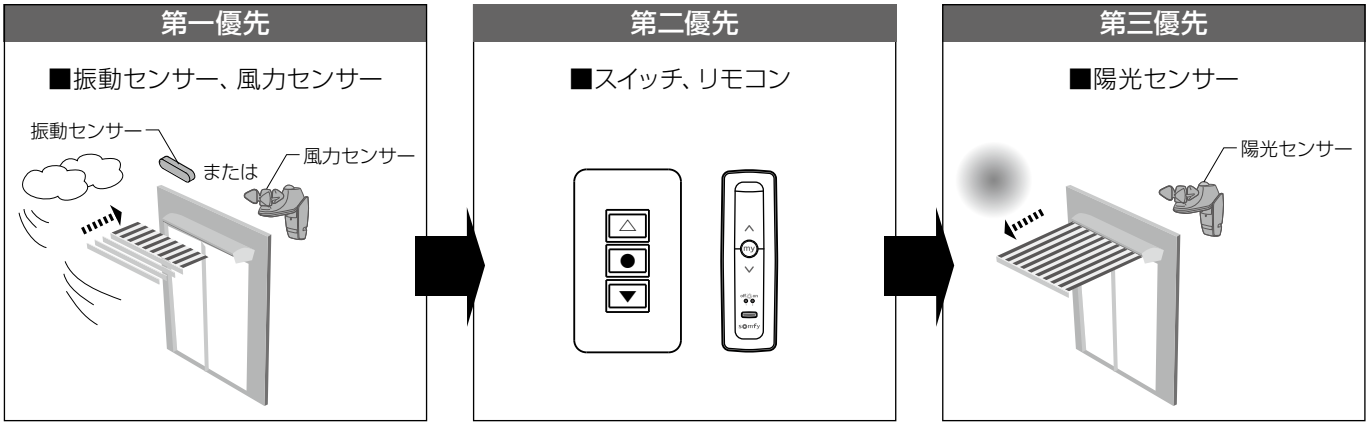
太陽が雲に出入り
すると自動的に対応。



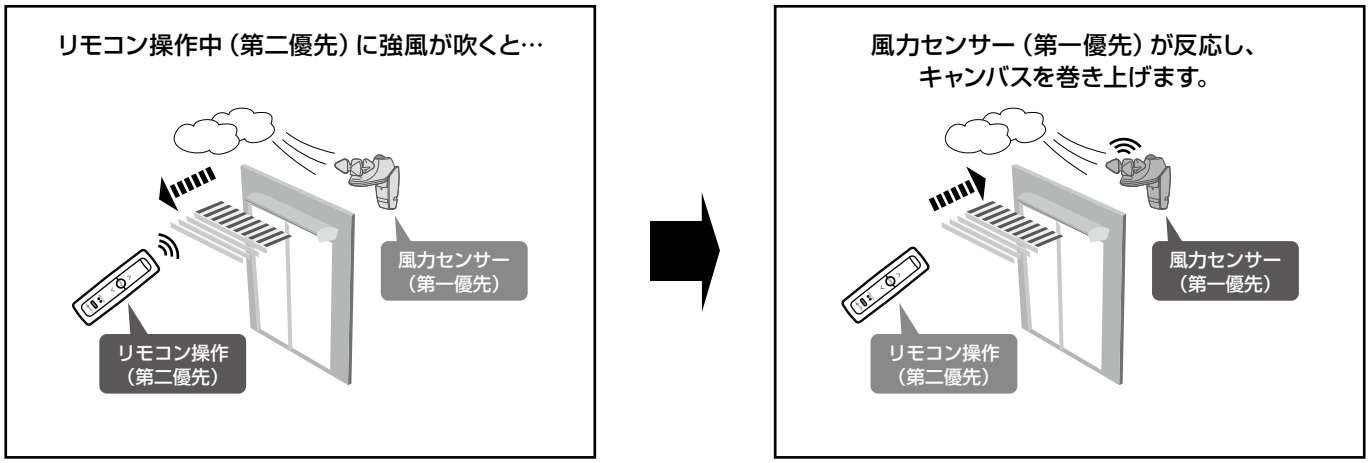
太陽が沈めば
自動的に巻き上げます。

## センサー作動時の優先順位

※風力陽光センサー、振動センサーとスイッチ、リモコンの優先順位は下記のとおりとなります。




例）リモコン操作（第二優先）でキャンバスを張出しているときに強風が吹くと、風力センサー （第一優先）が反応し巻き上げられます。



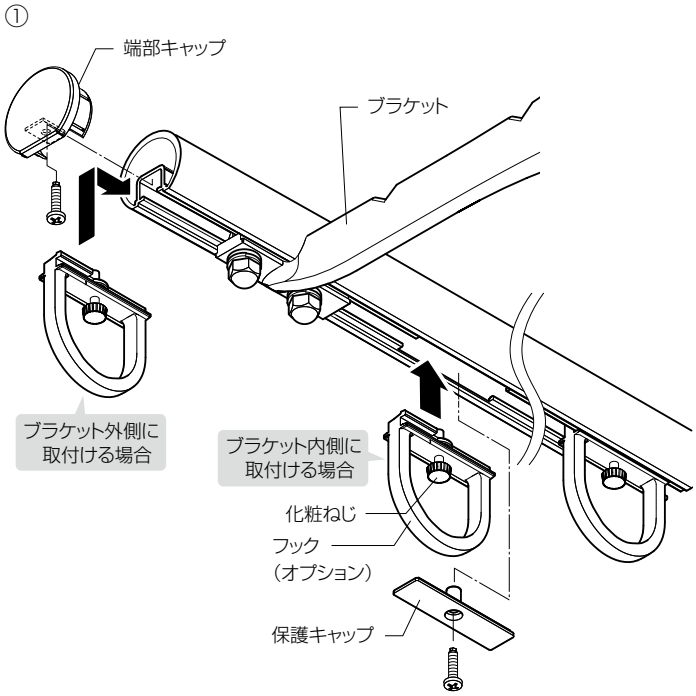
# 操作方法（彩風 多目的バー）

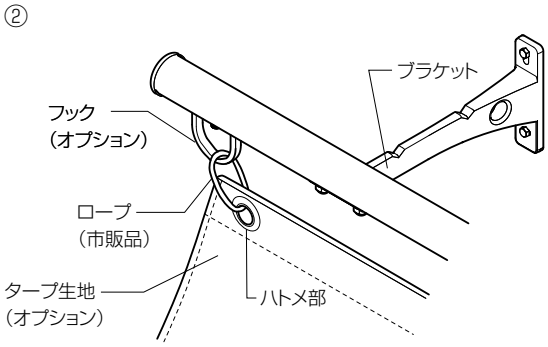
## タープ生地（オプション）の固定／彩風 多目的バー

### 上部の固定

①多目的バーにフック（オプション）を取付けます。
※キャップを一度取外してから取付けてください。取付け後は、再度キャップをねじでとめてください。
　取付け後はフックの化粧ねじを回し、お好みの位置で固定してください。

②フックと、タープ生地（オプション）のハトメ部にロープ（市販品）を通し、ロープを結んで 固定します。

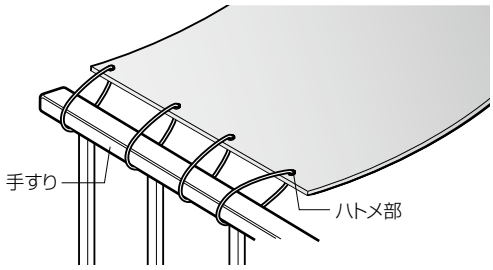



### 下部の固定

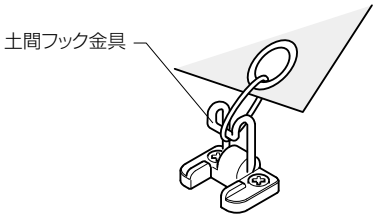
#### 手すりに引っ掛ける場合

手すりと、タープ生地のハトメ部にロープを通し、ロープを結んで固定します。



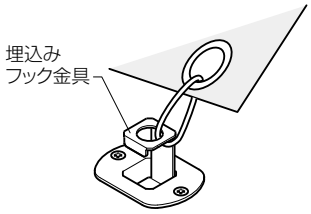

#### 土間フック金具（オプション）に引っ掛ける場合

土間フック金具とタープ生地のハトメ部にロープを通し、
ロープを結んで固定します。




#### 埋込みフック金具（オプション）に引っ掛ける場合

持ち上げた金具とタープ生地のハトメ部にロープを通し、
ロープを結んで固定します。

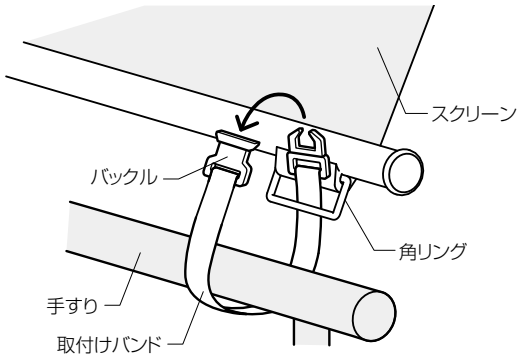


# 操作方法（彩風CR型）

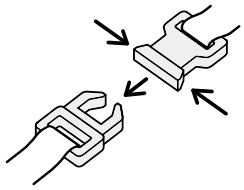
## スクリーンの固定／彩風CR型

### 手すりに引っ掛ける場合

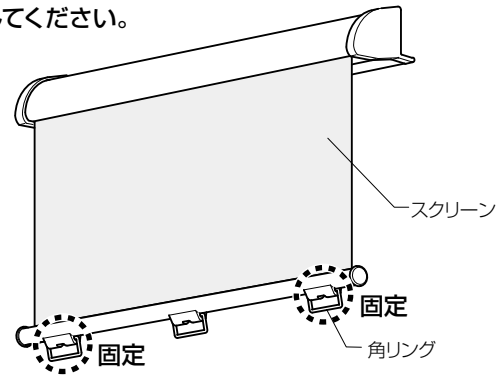
①取付けバンド（オプション）を手すりと角リングに引っ掛け、バックルをはめ込みます。




②外すときは、バックルの両端を押します。

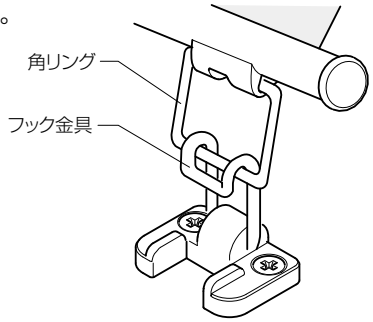


●スクリーンは両端 2 カ所で固定してください。



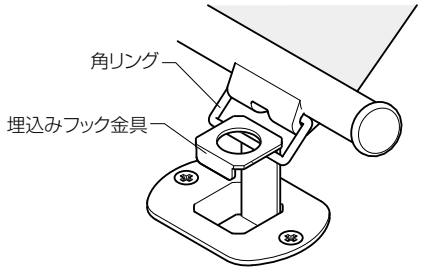

### フック金具（オプション）に引っ掛ける場合

●フック金具のフックを起こし、スクリーンの角リングを引っ掛けます。

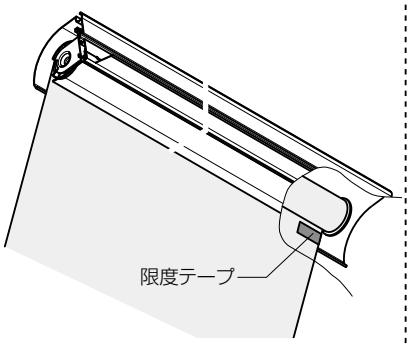



### 埋込みフック金具（オプション）に引っ掛ける場合

●金具を持ち上げ、スクリーンの角リングを引っ掛けます。



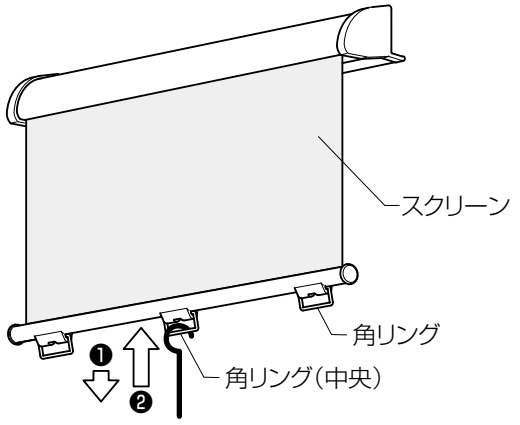

●フック固定金具は、スクリーンを張った状態で、限度テープが見えない範囲に固定してください。
※万が一最大まで出した場合にスクリーンがロックすることがあります。瞬間的に引っ張るとロックを解除することができます。




### スクリーンを上げるとき

①手すり、フック金具から、スクリーンを外します。
②スクリーン中央の角リングを持ち、スクリーンを少し引出し、ロックを解除させると巻上がります。

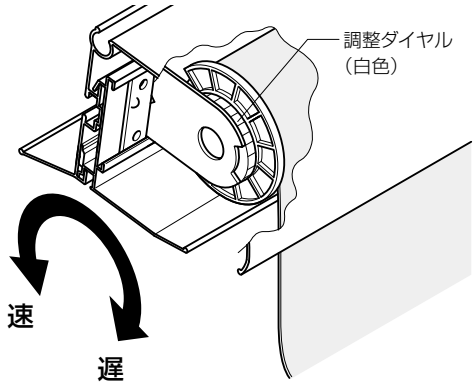
お願い
●スクリーンが巻乱れないようにゆっくり操作してください。巻乱れは生地の消耗を早めます。




### スクリーン巻上げ速さの調整

●調整ダイヤルを回します。
・スクリーンが［出ていく］方向→巻上げ速度が遅くなります。
・スクリーンが［巻上がる］方向→巻上げ速度が速くなります。

お願い
●風などの影響で 徐々に巻きバネが緩み巻上げ速度が遅くなることがあります。そのような場合には調整ダイヤルを回し速度調整してください。



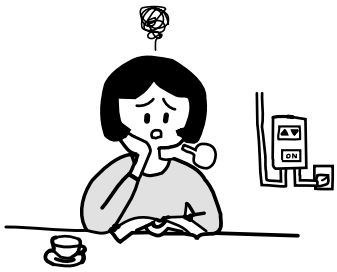
# 製品が動かない場合

●停電ではありませんか？

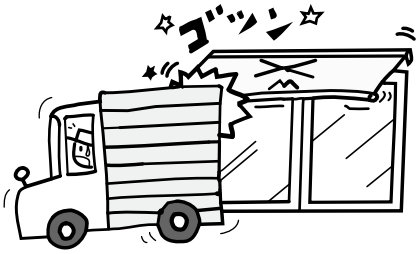
電源プラグが外れていませんか？
リモコンの電池切れではありませんか？



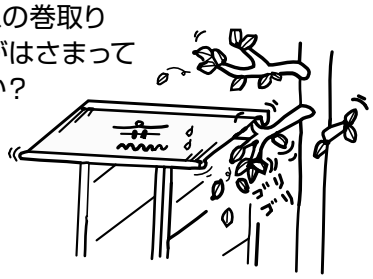
●開閉切替えスイッチを正しく操作していますか？




●キャンバスが張出す範囲に障害物などがありませんか？

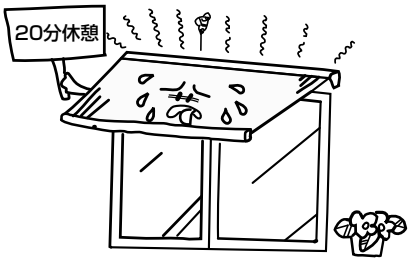



●キャンバスの巻取り部分に物がはさまっていませんか？

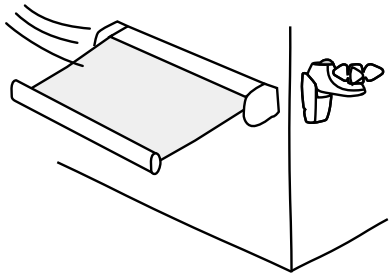



●連続開閉しませんでしたか？

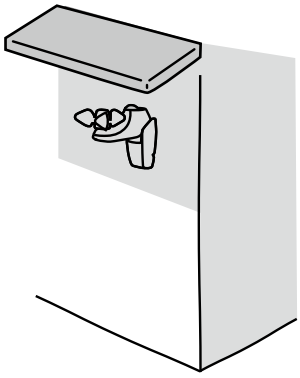
（20～30分ほど休ませると再び動かせます。）




●風力センサーのプロペラは正しい方向に設置してありますか？

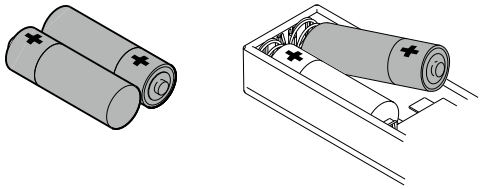


●陽光センサーを日当たりの悪い場所に設置していませんか？



●振動センサーの電池が切れる、又は外れていませんか？

電池切れ　　電池外れ



振動センサーの電池が切れると自動的に彩風が閉じます。
センサーの作動以外で閉じた場合は電池交換のサインですので電池交換をしてください。

# お手入れ方法

## 商品の点検

●定期的(年一回程度)に、ねじ･ボルト類のゆるみを点検し締直してください。締直してもガタツク場合は腐食のおそれがありますので、お買い求めの工務店・販売店又はLIXIL修理受付センターへご連絡ください。

## 商品のお手入れ

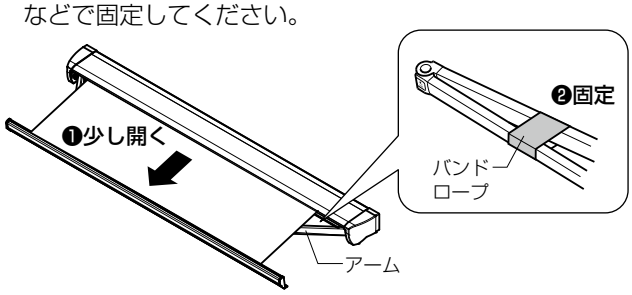
### キャンバス生地・スクリーン生地

●古くなったキャンバス生地･スクリーン生地は、早めに交換してください。強風･衝撃で破損しやすくなります。美観の観点から、3～5年を目安に(保証値ではありません)交換することをおすすめします。
●キャンバス･スクリーンをお手入れする場合は、ぬらしたスポンジでふいてください。中性洗剤を使用する場合は、洗剤が残らないようふき取ってください。(タワシなどの硬い物でこすらないでください。表面の樹脂加工がはがれます。)
※取付条件によって生地の縫目部分等にシワが発生する場合がありますが、品質には問題ありません。

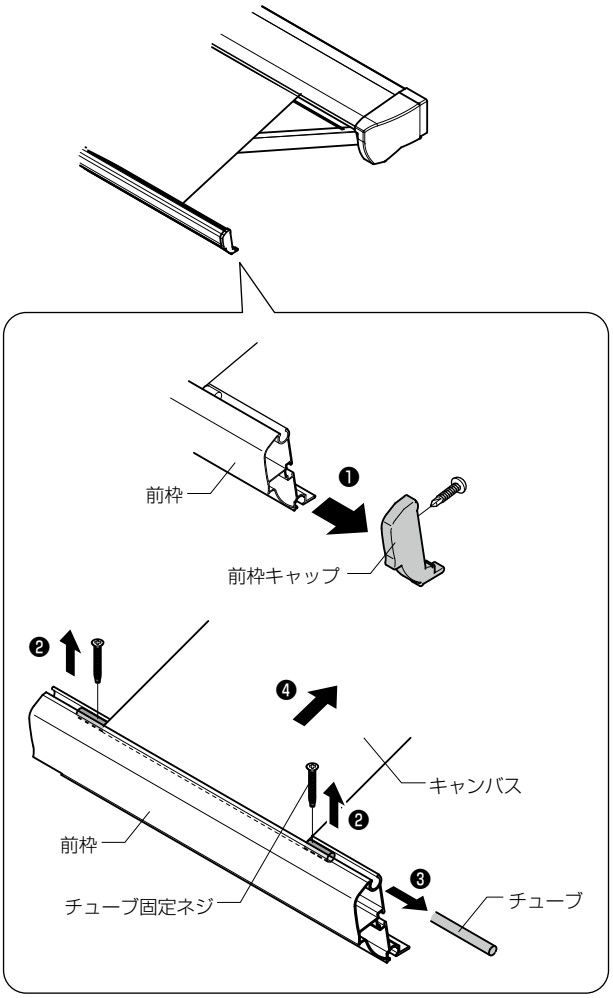
### キャンバス生地の交換

**【キャンバスの取外し】**

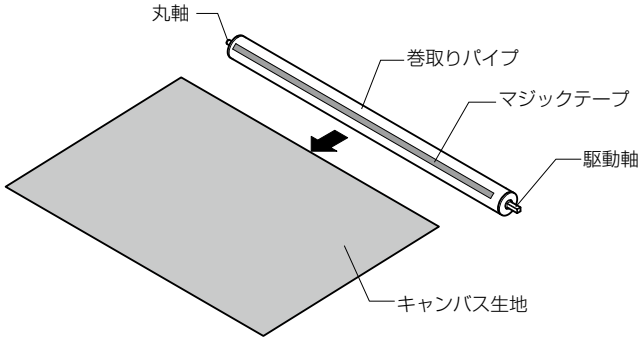
①キャンバスを少し開いた状態でアームをバンド・ロープなどで固定してください。




②両端の前枠キャップを外してください。
③チューブ固定ネジを外し、前枠からチューブを抜いてキャンバスを外します。

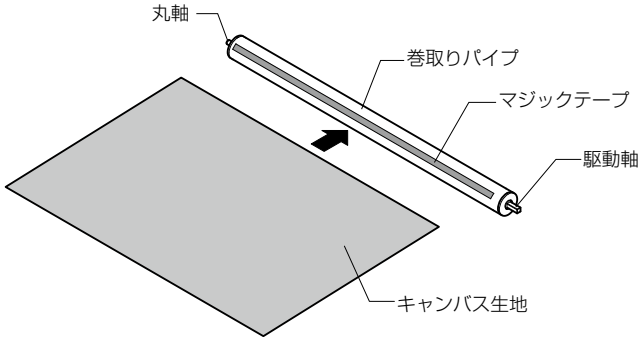



④キャンバスをキャンバスの端部がみえるところまで出し、巻取りパイプのマジックテープから外してください。

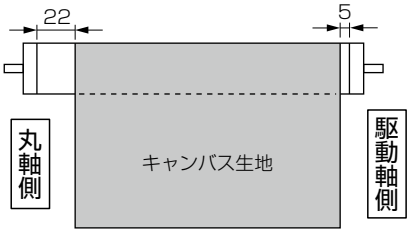



**【キャンバスの取付け】**

①新しいキャンバスを巻取パイプに一直線になるようにマジックテープで取付けます。




●キャンバス生地はシワが出ないよう取付けてください。(C・S・CR型の場合)

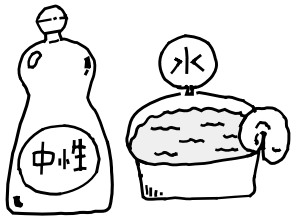



※L型の場合は両端とも25mmになります。

②以降の取付けは【キャンバスの取外し】①～③を逆の手順で行ってください。
※アームハンドを外す際は、キャンバスの巻きズレがないことを確認してください。

## アルミ製品

●アルミは比較的腐食しにくい材質ですが、砂･ホコリ･塩分などが付いたまま長い間放置しておくと、空気中の湿気や雨水の影響を受け、腐食の原因になります。お手入れはなるべくこまめにしてください。




■お手入れ回数の最低限の目安

| お住まいの立地条件 | お手入れ回数 |
|---|---|
| 臨海工業地帯 | 1年に2～3回 |
| 海岸地帯・工業地帯 | 1年に2回 |
| 市街地 | 1年に1～2回 |
| 田園地帯 | 1年に1回 |

**■汚れが軽い場合：**

●水でぬらしたぞうきんで汚れをふき取り、からぶきします。

**■汚れがひどい場合：**

①水でぬらしたぞうきんで全体についたホコリ･砂などをふき取ります。

②うすめた中性洗剤でひどい汚れを落とし、洗剤が残らないようによくふき取ります。

③全体をからぶきします。

## ロープ

●ロープは消耗品です。ほつれてきたら早めに交換してください。

## 駆動機

●電動タイプのモーターは消耗品です。 5000回開閉程度を目安に、モーターが動かなくなるまたは動作が鈍くなるようなことがおきましたら交換をおすすめします。

●手動タイプの手動ギアは消耗品です。製品サイズによって300～3000回開閉程度を目安に 、「操作が重くなる」「ギアから音が鳴る」等のことが起きましたら交換をおすすめします。
（数値は保障値ではありません。使用環境･頻度により異なります）

●アーム駆動時に異音(音鳴り)がある場合は、樹脂･ゴム部にも使えるシリコン潤滑スプレー(KURE シリコンスプレーなど)をアーム摺動部に塗布してください。なお一般金属用の潤滑油スプレー(KURE 5-56など)は部品劣化やホコリ付着による作動不良要因となるため使用しないでください。塗布する際には摺動部とキャンバスの間に段ボールなどを入れキャンバスに掛からないようにしてください。（異音抑制のため定期的に塗布することをおすすめします）改善しない場合にはお買い求めの工務店･販売店又はLIXIL修理受付センターへご連絡ください。

## お手入れ時のお願い

●洗剤は必ず中性洗剤をご使用ください。酸性･アルカリ性･塩素系薬品･ベンジン･シンナー･トルエンなどの有機溶剤および有機溶剤入り洗浄剤などはアルミ形材･ステンレス部品の腐食や塗膜はがれ、キャンバス･スクリーンの変色･色あせを引起こしますので絶対に使用しないでください。誤って使用した場合は、すぐに大量の水で薬品をよく洗い流してください。

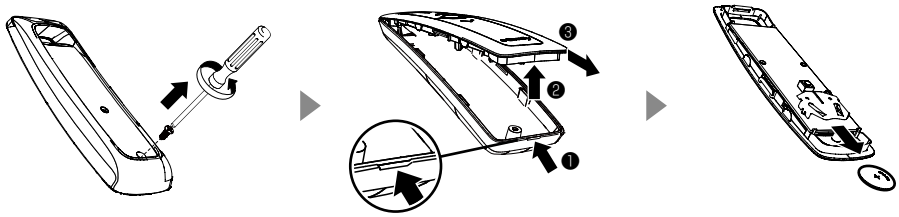
●金属製ブラシ･金ベラなどは、表面の塗膜をキズ付け劣化を早めますので使用しないでください。



## リモコンの電池交換

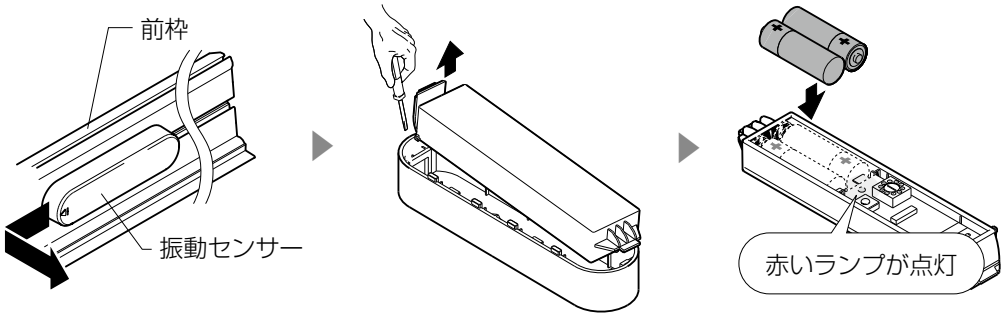
●リモコン裏面のねじを外し、カバーを外します。
3Vのリチウム電池（CR2430型又はCR2032型）をセットし、再度カバーを取付けてください。

①ねじを外す　②カバーを外す　③リチウム電池を交換する




## 振動センサーの電池交換

①センサーをスライドさせ、前枠から外します。　②マイナスドライバーで電池蓋を外します。　③電池を交換します。




**⚠危 険**

**リモコン、振動センサーの電池について**

●電池の液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で充分に洗った後、医師の治療を受けてください。失明など障害のおそれがります。

**⚠警 告**

**リモコン、振動センサーの電池について**

●電池は乳幼児の手の届く所に置かないでください。電池を飲み込んだ場合は直ちに取出す必要がありますので、すぐに医師に連絡し、指示を受けてください。電池を飲み込むと、化学やけど、粘膜組織の貫通など、最悪の場合は死に至ることがあります。

●使い方を誤ると、電池が発熱、液漏れ、破裂し、ケガや火災の原因になりますので、下記事項をお守りください。
- 火の中に入れたり、加熱、分解しないでください。
- 電池の(+)と(−)を逆にして使用しないでください。
- 新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。

**⚠注 意**

**リモコン、振動センサーの電池について**

●使い方を誤ると、電池が発熱、液漏れ、破裂し、ケガや周囲を汚損する原因になりますので、下記事項をお守りください。
- 落下させたり、強い衝撃を与えたり、変形させたりしないでください。
- 水などで濡らさないでください。
- 直射日光・高温・高湿の場所を避けて使用、保管してください。

# アフターメンテナンスについて

## 修理を依頼される前に

点検および修理を依頼される前に、取扱い説明書の**「■製品が動かない場合」**をご確認ください。

## 保証について

保証期間中は、保証の規程にしたがって修理をさせていただきます。
保証期間中でも有料になる場合がありますので**「■商品保証について」**の内容をよくご確認ください。

保証期間を過ぎている場合は、ご希望により有料で修理をさせていただきます。修理用部品の保有期間が過ぎている場合は、修理ができないこともあります。

## 修理を依頼されるときは

点検および修理を依頼される前に、各商品の『**取扱い説明書**』をもう一度ご確認の上、それでも故障が直らない場合やご不明な点がある場合は、商品をお求めの施工店、工務店、 販売店又はLIXIL修理受付センターにご連絡ください。その際、下記のことをご連絡ください。

| | |
|---|---|
| 商品名・品番 | |
| ご購入日又はご入居日（※） | |
| 故障又は異常の内容 | |
| 訪問ご希望日 | |

| | |
|---|---|
| ご 住 所 | |
| お 名 前 | |
| 電話番号 | |
| そ の 他 | |

※分譲住宅（建売）、分譲マンションは建設業者から売主への引渡し日となります。

## 個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

## 点検および修理の依頼先

・お求めの取扱い店
・製品に表示している連絡先
・LIXIL修理受付センター　0120-413-433

## 点検および修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料は、点検および故障個所の修理および部品交換・調整などの作業にかかる費用です。
部品代は、修理に使用した部品代です。
出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品・製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

## 修理用部品の保有期間

この商品の修理用部品（機能を維持するために必要な部品・代替品含む）の最低保有期間は、製造終了後10年です。
※機器類など専用の取扱い説明書があるものは除きます。添付の取扱い説明書をご確認ください。

キッチン、洗面化粧台、室内建具などの扉・引出しなどの面材については、販売終了後2年としております。2年経過後は、新シリーズの面材を供給させていただきます。ただし2年に満たない場合でも、面材の供給が難しい場合は、新シリーズの類似面材を供給させていただくこともありますのでご了承ください。

## 交換用部品について

お客様ご自身でお取替えいただける部品については、ホームページよりご注文いただけます。
リクシルパーツショップ　**http://partsshop.lixil.co.jp/shop/**

掲載のない部品につきましては、お求めの取扱い店又は当社お客さま相談センター 0120-126-001にご連絡ください。

# 商品保証について

## 可動式日除け　保証書

| 製造No.<br>（商品名シールNo.） | | |
|---|---|---|
| 保証期間 | 対象部品 | 期間（お引渡し日より） |
| | 本体 | 2ヶ年 |
| | 但し電装部品 | 1ヶ年 |
| お引渡し日 | 年　月　日 | |
| お客様 | ご住所 | |
| | お名前　様 | |
| | 電話　（　） | |

本書はお引渡し日から左記期間中故障が発生した場合には、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記記載内容をご参照ください。

※お引渡し日、お客様名、施工店名及び製造No.が不明の場合は、保証しかねますので施工店に必要事項の記入をご依頼ください。又本書は再発行致しませんので大切に保管してください。

| 施工店 | 住所・店名　㊞<br>電話　（　） |
|---|---|

**株式会社 LIXIL**

### (1)保証者

株式会社LIXIL

### (2)保証の対象者

当該商品の所有者

### (3)対象商品

LIXILブランドで発売しているエクステリア商品、ガーデンリビングファニチャー&グッズ商品

### (4)保証内容

取扱い説明書・表示ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に発生した不具合については、下記に例示する免責事項を除き、無料修理いたします。

### (5)保証期間

当該商品の施工完了日（お引き渡し日※）から起算して2年間。（電装部品及び木製部品については1年間）ただし、施工を伴わない商品及びガーデンリビング ファニチャー&グッズ商品についてはご購入された日から起算して1年間。

※注）新築分譲住宅の場合は、建築主さまへの引渡し日。

### (6)品質保証の免責事項

保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

①当社の手配によらない第三者の加工、組立て、施工（基礎工事、取付工事、シーリング工事、電気工事など）、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合（海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色、腐食、基礎寸法や取り付け寸法違いなどによる性能低下、工事中の養生不良による変色や腐食など）。

②取扱い説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された使用方法からの逸脱及び適切な維持管理を行わなかったことなどに起因する不具合（例えば、雪下ろしや操作上の注意などの注意シール内容の不励行による破損など）。

③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする地域や場所に取り付けられた場合の不具合（例えば、積雪強度、耐風圧強度、寒冷地での作動性や凍結に起因する不具合など）。

④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合。

⑤商品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗・摩耗など。木製品のささくれ、ヒビ割れ、変色、ねじ、ボルトの緩みや釘の浮きなど）や経年劣化（樹脂部分の変質・変色など）またはこれらに伴う不具合、および電池・電球などの消耗品の損傷や故障。

⑥商品又は部品の材料特性に伴う現象（例えば、木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹液のにじみ出しなど）。

⑦自然現象や住環境に起因する結露などに起因する不具合（例えば、結露による凍結、サビ、カビ発生など）。

⑧環境が特に悪い地域又は場所に取り付けられたことに起因する腐食及び不具合（例えば、海岸地帯での塩害や大気中の砂塵・煤煙・金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車や給湯器などの排気ガスが付着して起きる腐食や塗装はく離、異常な高温・低温・多湿による不具合、軟弱地盤による沈下や、倒壊など）。

⑨天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など）により商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。

⑩実用化されている技術では予測不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合。

⑪犬、猫、鳥、ねずみ、虫などの小動物の害、またはつるや根などの植物の害、またはそれに関する不具合。

⑫所有者様や第三者による不当な修理や改造（必要部品の取り外し含む）に起因する不具合。

⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。

⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合および盗難。

※保証期間経過後の修理・交換などは有料といたします。

※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所・お客さま相談センターにお問い合わせください。

※本商品保証は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is availed only in Japan.）

・当社の商品に関し、上記に記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。
・保証期間中に故障・損傷などの不具合が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店に修理を依頼してください。当社支店・営業所、お客さま相談センターにてもご相談を承ります。

2015年4月

LIXIL
Link to Good Living

私たちは、優れた製品とサービスを通じて、
豊かで快適な住生活の未来を創造する住まいと暮らしの「総合住生活企業」です。



ECO FIRST 1

地球環境のためにLIXILは
業界トップランナーとして
先進的な取組をしていきます。

**株式会社 LIXIL**

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

# https://www.lixil.co.jp/

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

**商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで**

受付時間/月～金 9:00～18:00　土・日・祝日 9:00～17:00（ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く）

TEL. 0120-126-001

●旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は
旭トステム外装（株）サービスデスクナビダイヤル　TEL.0570-001-117

**修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで**

受付時間/月～金 9:00～18:00（祝日、年末年始、夏期休暇等を除く）

TEL. 0120-413-433

https://www.lixil.co.jp/support/

**安全に関するご注意**

ご使用の前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

**個人情報保護について**

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

●表示価格は2012年4月現在のメーカー希望小売価格です。商品のみの価格で、取付費・工事費などは別途となります。
●商品価格はすべて税別価格です。
●写真は印刷のため、実際の色と異なる場合がございます。現物またはサンプルなどにてご確認ください。
●仕様・価格は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
●本カタログ掲載内容及び写真・図版の無断転載はかたくお断りします。

取説番号　**MAN-251E**　事業所コード　**LZX4**　2026.11.2 発行

*MAN251E*

UM003
202611F_1100